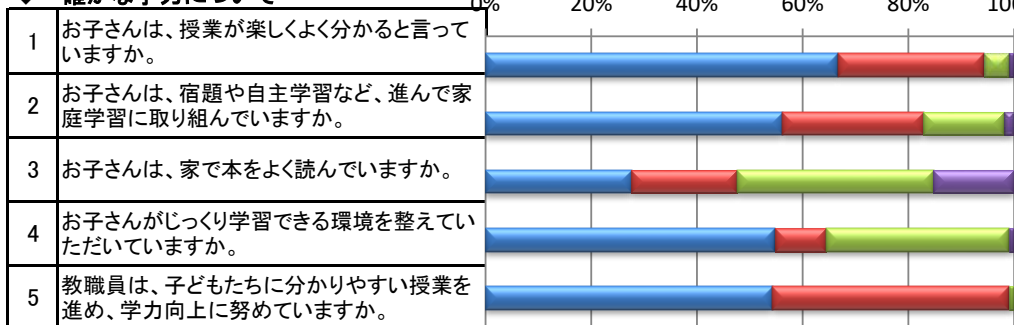
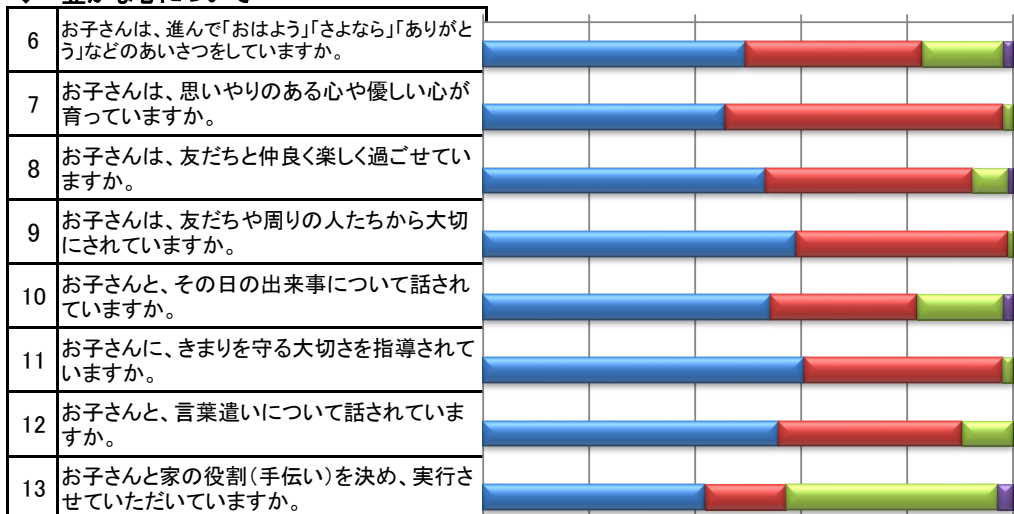


【教職員による回答】

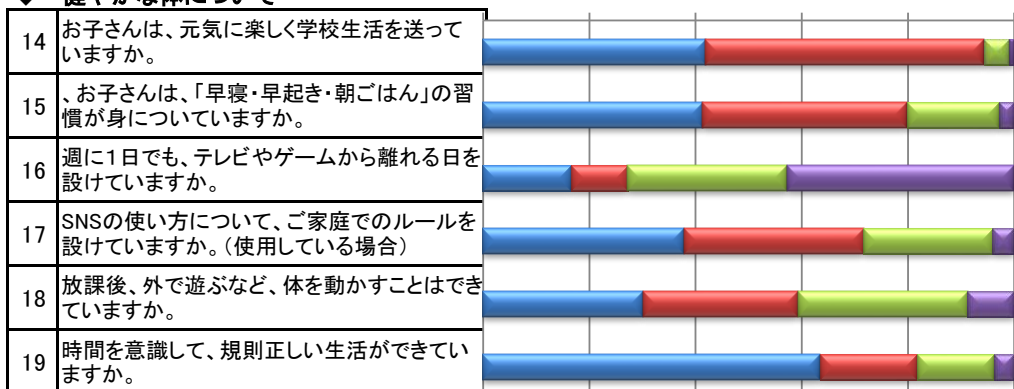
◆ 確かな学力について



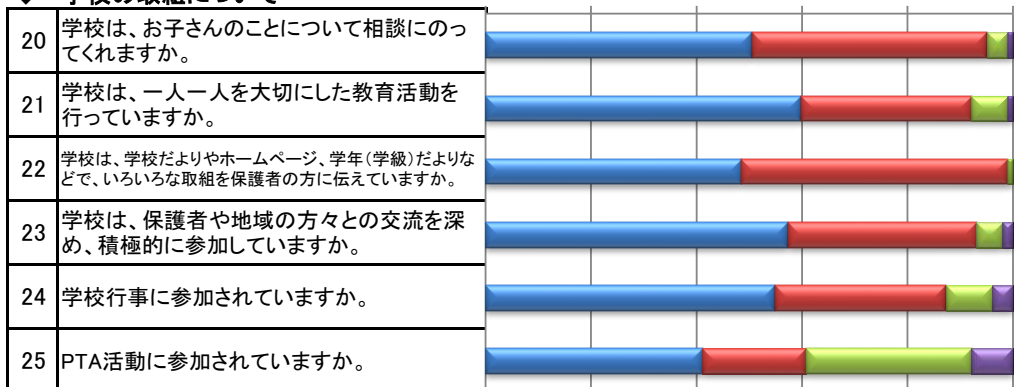
◆ 豊かな心について



◆ 健やかな体について



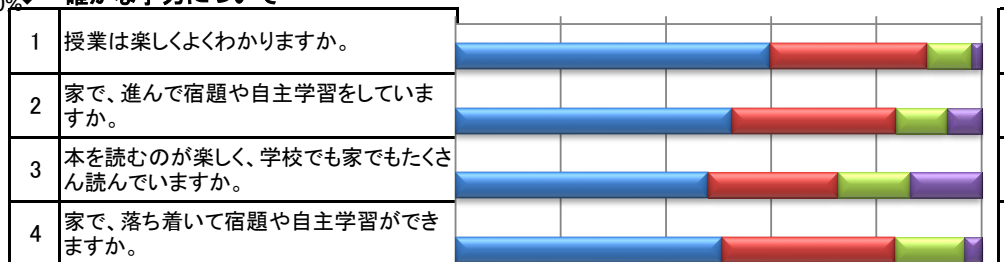
◆ 学校の取組について



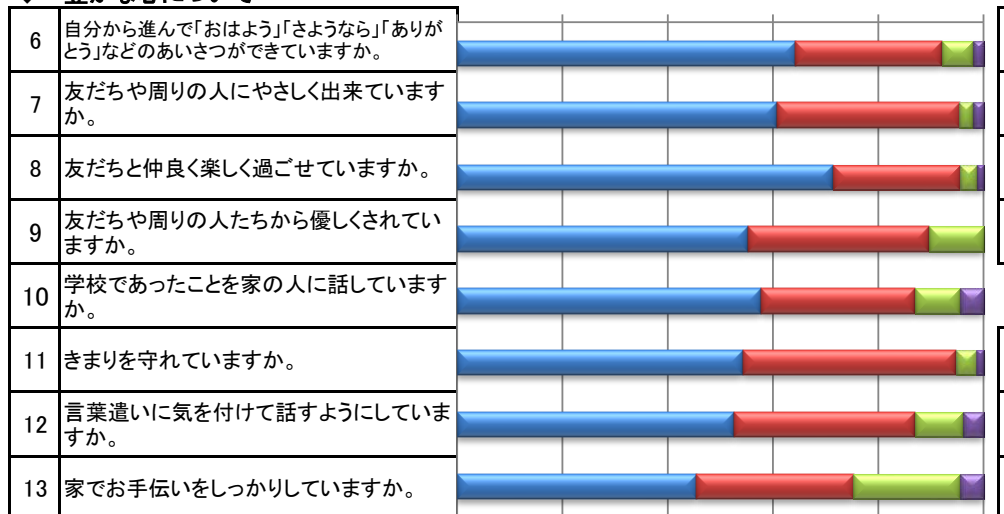
【確かな学力について】

・「授業が楽しくよくわかる」について、保護者からも児童からも9割近く肯定評価となっています。しかし『よくあてはまる』の回答を見ると保護者の方からは40%近く増えたのに対して、児童からの回答では約10%減っています。全ての児童が学びの主体者として“分かった”“できた”と実感できる授業を目指して、毎時間の授業を大切に取り組んでいくことが、主体的に宿題等に取り組むことにもつながっていくと考えます。

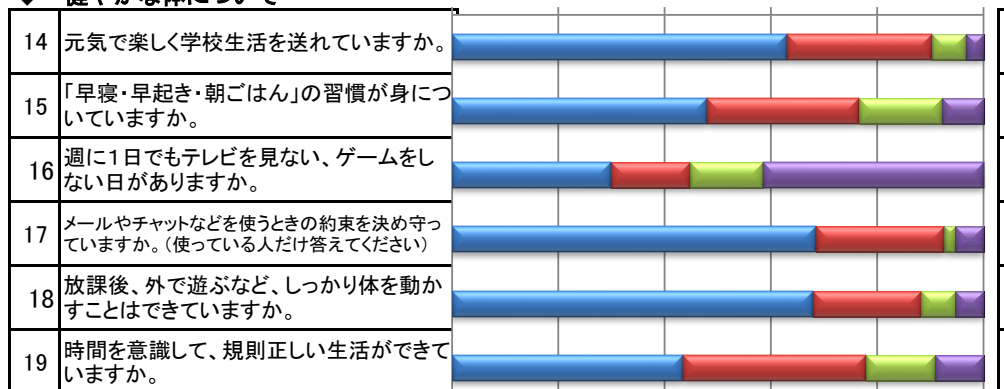
◆ 確かな学力について



◆ 豊かな心について



0%◆ 健やかな体について



0%◆ 学校の取組について



・「家で本をよく読む」については、放課後の忙しさや魅力的な娯楽がたくさんある家庭において児童が読書をする機会を設けることは難しい課題です。学校の読書活動を家庭に繋げる工夫をしていきたいと思います。

【豊かな心について】

・「あいさつ」の定着も難しい課題ですが、あいさつをして良かった、心が温かくなったといった経験を増やすことで徐々に定着させていきたと考えます。

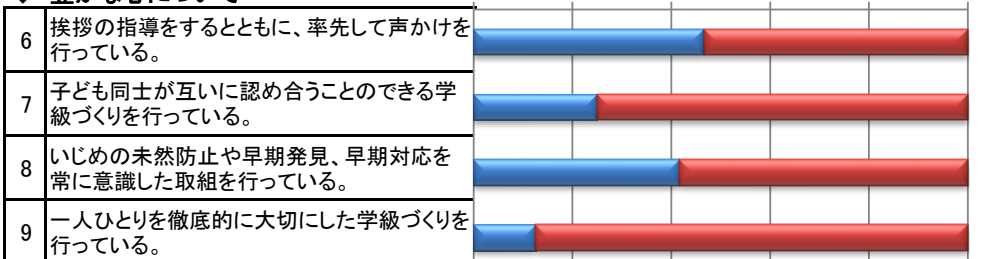
・「楽しく過ごせている」については9割以上の児童が肯定的な回答をしています。これは本校児童の友だちを受け入れる良さ、優しさの表れであると思います。

・「きまり」「言葉づかい」については、保護者からの肯定評価は伸びている一方、児童の肯定評価は下がっています。学校生活の様子を見ても、無意識にルールが守れていなかったり、乱暴な言葉づかいになったりしている児童も少なくありません。決まりやルールを守り、人への気持ちを大切にすることも、つまりは自分を大切にすることであり、みんなが気持ちよく学校生活を送ることにつながることを意識できるようにしていきたいです。

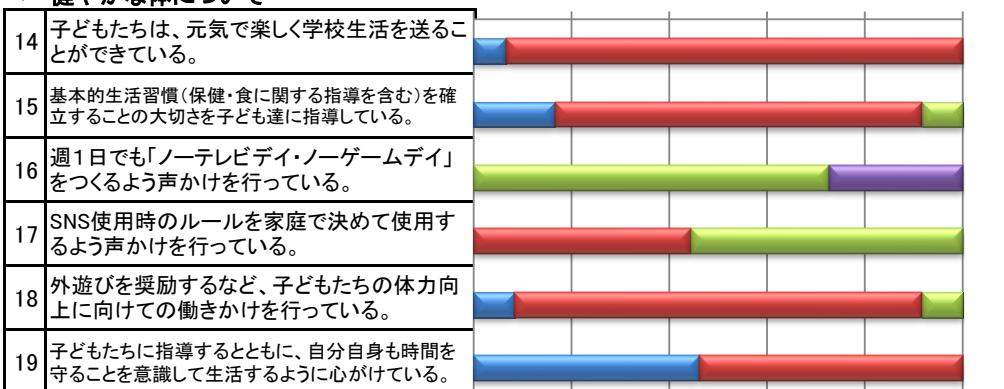
◆ 確かな学力について



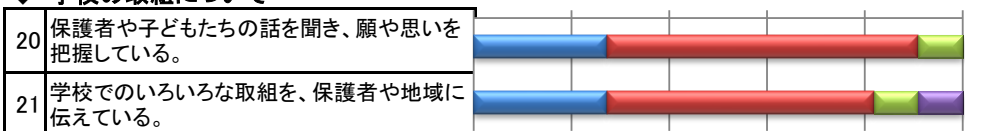
◆ 豊かな心について



◆ 健やかな体について



◆ 学校の取組について



・「学校であったことを家で話す」については、家庭生活の中での何気ない会話の機会を増やすことで、学校での様子をつかんでもらうことが児童の困りや課題を早期に把握することにつながるのではないかと考えます。

【健やかな体について】

・「基本的生活習慣」について、児童の否定評価が増えました。学年が進むにつれて就寝時刻が遅くなる傾向が伺えます。「早寝・早起き・朝ごはん」は健康的な生活を送るうえで非常に大切なことです。学校でも継続的に指導、働きかけをしていきたいと思ひます。

・「外遊び」についても児童の否定評価が増えています。家庭ではテレビやゲームとの関連も大きいと思ひれます。学校で体を動かすことの心地よさや外遊びの楽しさを味わえるような取組を進めることで、家庭でのテレビやゲームの時間を減らすことにつながれたらと思ひます。